

日本物理学会 2022 年秋季大会
領域 13 物理学史インフォーマルミーティング 議事録

日時:2022(令和 4)年 9 月 12 日(月)17 時~17 時 40 分
東京工業大学大岡山キャンパス+Zoom 配信

出席者(敬称略):小島、稲葉、高岩、中根、河野、小長谷、小沼、田中、雨宮

I. 報告事項

(1) 日本物理学会 2022 年秋季大会 領域 13(物理学史)状況報告(雨宮)

2022(令和 4)年 9 月 12 日(月) 東京工業大学大岡山キャンパス 会場:W321

計 11 件(講演概要集提出率:100%、うち複数登壇数:3 件(雨宮))

座長 前半:高岩義信(高エ研)、後半:小長谷大介(龍谷大経営)

対面参加者:前半 約30名 後半 約22名

オンライン参加者:前半 約14名 後半 約13名

(2) 日本物理学会 2023 年春季大会について(雨宮)

2023 年 3 月 22 日(水)~25 日(土) オンライン開催

(※日程は素核字・物性共通)

※ 今大会は年次大会ではなく春季大会になります。(2023 年度の年次大会は 9 月に開催)

シンポジウム、招待・企画講演等 企画募集掲載:会誌 2022 年 10 月号

一般講演 募集要項掲載:会誌 2022 年 11 月号

シンポジウム、招待・企画講演等 企画提案 web 受付:10 月 18 日(火)~11 月 10 日(木)

一般講演申し込み期間:11 月 15 日(火)~12 月 1 日(木)14 時

※ 春季大会は秋季大会と同様、一人あたりの発表件数は 3 件まで。

(3) 領域委員会からの報告(小島)

1. 秋の学会(2022 年秋季大会)の物性領域における企画採択数

招待講演(1 件)・企画講演(2 件)・チュートリアル(5 件)・シンポジウム(7 件)

2. 若手奨励賞のスケジュールの確認

若手奨励賞のスケジュールについては、物理学会領域 13 のホームページに掲載済み。

3. オンライン大会の定期開催に関する議論

「年 1 回対面開催、年 1 回オンライン開催」に強い反対はなく、理事会からの「オンライン開催の定期開催」の提案は本委員会(領域委員会)内では承認された。

なお、議事録には「領域 13 の高校教員の方は、秋がオンラインの希望が多い」と記載あり(領域 13 代表・金長先生の御意見)。

(4) 会誌編集委員からの報告(稲葉)

『日本物理学会誌』では、2022 年 4 月号から 9 月号までのあいだに、以下の物理学史関連記事が掲載された。

- ・ 6 月号【歴史の小径】霜田光一「物理学会設立前後の思い出」
- ・ 9 月号【歴史の小径】小栗一将「アナログ電子回路による潮位と高潮の予測 —石黒鎮雄博士の業績—」

なお、11 月号に「歴史の小径」が 1 本掲載予定である。

(5) 物理学史資料委員会からの報告(岡本)

物理学会創立 150 周年に向けて検討を進めている。『大学の物理教育』と共同で開始している教育史に関する企画は既に始まっているが、ほかはまだ計画の段階にあり、来年度から本格的に予算を確保して作業を進める予定。

今後、理事会、会誌編集委員会など、学会内の他の組織のご協力を仰がなければならないことが多々あり、また、物理学史に関心をお持ちの方々にも広くお願いすることになるので、協力をお願いしたい。

(6) 新著紹介小委員会からの報告(所澤)

特になし。

II. 審議事項

(1) 領域 13(物理学史)次期領域運営委員の選出について

【参考】領域運営委員候補者の選定時の考慮事項

- ・ 本会会員であること。
- ・ インフォーマルミーティングでの承認を原則とする。(メーリングリスト等での承認でも可。)
- ・ 同一機関、同一地域から連続して選出することは、原則として避ける。
- ・ 世代、専門分野等のバランスを考慮する。

【参考】直近の領域運営委員(敬称略)

2011 年度 小長谷 / 2012 年度 小島 / 2013 年度 雨宮

2014 年度 永平 / 2015 年度 雨宮 / 2016 年度 小長谷

2017 年度 雨宮 / 2018 年度 田島 / 2019 年度 雨宮

2020 年度 有賀 / 2021 年度 小長谷 / 2022 年度 雨宮

→ 審議の結果、稲葉肇(明大政経)を次期領域運営委員とすることが承認された。

(2) 日本物理学会 2023 年春季大会での企画講演について

前年度からの審議事項であった「我が国の物理学史研究黎明期」に関する企画講演について議論し、以下のように対応することを決定した。

- ・ 講演予定者である中根が、講演タイトルや講演内容について取りまとめ、雨宮に提出する。
- ・ 講演タイトル・講演内容については、物理学史 ML で審議する。同時に、領域代表・領域副代表・領域運営委員のあいだでも情報を共有する。
- ・ 物理学史 ML での審議や領域代表・領域副代表・領域運営委員の意見を踏まえて、雨宮が企画講

演を申請する。

(3) 日本物理学会 2022 年秋季大会・一般講演(対面+Zoom配信)に関する意見

- Zoom参加者からの意見

一般講演全体を通して、音声聞き取りにくかった。

(事務局が準備したマイク等の問題なので、座長や領域運営委員では対応できなかった。)

- 座長による一般講演の運営についての意見

Zoom参加者からの質問やコメントを確認することが、一般講演の運営・管理上、予想以上に困難であった。

(Zoom 参加者の質問やコメントを確認する係が別途必要であったとの意見も出された。)

→ 学会事務局に意見を出すかは、領域代表や他分野の領域運営委員(物理教育・環境物理)と相談して対応することになった。

以上